

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

マーケットサマリー

昨日は、7月IPCAがガソリン価格の下落を主因として前月比+0.19%（市場予想+0.24%）、前年比+3.22%（市場予想+3.28%）と弱い結果となったものの、中国人民銀行が基準レートを1ドル7.0039元と市場予想より元高に設定したことで貿易摩擦への警戒感が緩和され、ドルレアルは3.92ドルを下回った。年金改革法案も下院での第2回投票後から更に議論が繰り広げられたが、内容変更がなされずに上院に送られたことも好感した模様。

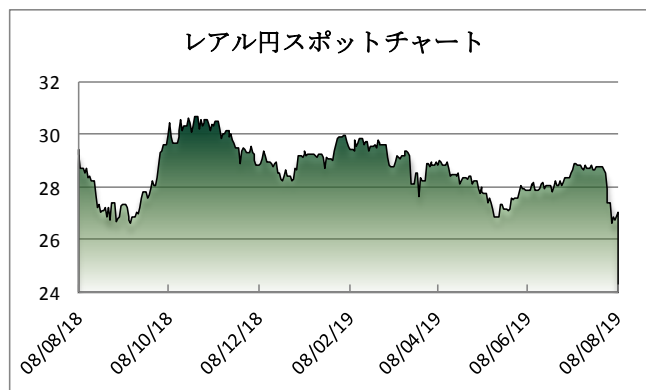
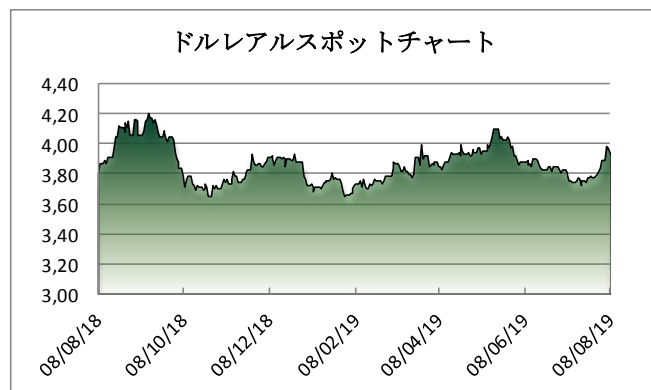
ボベスパ指数は3日連続で上昇し、104,000台を回復。海外におけるリスクの緩和により各マーケットは安心感を取り戻しつつあるが、弱いIPCAを受けて金利は下落しており、ブラジルの景気回復ペースの懸念から、マーケットは9月に0.50%の利下げを織り込み始めている。

上院での年金改革法案の投票は8月下旬以降と予想されているが、現在下院では税制改革も合わせて議論されている。Rodrigo Maia下院議長は「税制改正は年金改革と同程度の時間か、それより短い時間で終わるだろう」とのコメントを出しており、改革の行方に注目しておきたい。貿易摩擦と世界経済の減速懸念はあるものの、ブラジルでは年金改革や税制改革、民営化を進めており、各々の改革と中央銀行の利下げに伴う低金利環境がブラジルの景気を長期に亘って成長させていく態勢を整え始めていくだろう。

マーケットデータ

Indicator		Unit	8月7日	8月8日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,9706	3,9198	-1,28%	2,96%	3,6374	4,1217
	対円	JPY	26,77	27,07	1,12%	-5,16%	30,08	26,45
	対ユーロ	BRL	4,4469	4,3812	-1,48%	2,57%	4,1646	4,6037
円	対ドル	JPY	106,27	106,07	-0,19%	-2,44%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	119,02	118,59	-0,36%	-2,74%	117,68	127,50
Bovespa（ブラジル株価指数）		Index	102.782	104.115	1,30%	-0,40%	106.650	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	137,80	131,98	-4,22%	-8,33%	209,52	124,06
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	7,18	7,15	-0,42%	-1,83%	9,34	7,15
DI Future Jan20（金利先物）		%	5,51	5,48	-0,64%	-5,52%	6,69	5,48
3 Months US Dollar Libor		%	2,18450	2,18100	-0,16%	-6,71%	2,8039	2,1845
CRB Index（国際商品指数）		Index	167,89	170,32	1,45%	-5,74%	189,68	167,38

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。